

【依知南地区】令和4年度自治会長と市長とのまちづくりフリートーク実施結果【最終報告】

日 時: 令和4年8月31日(木) 午後5時50分～午後7時5分
 会 場: 依知南地区市民センター
 参加者: 地区の自治会長(8名)、公民館地区館長、
 市長、副市長、教育長、市長室長、協働安全部長、道路部長、地区市民センター所長

テーマ 『交通死亡事故ゼロ』について

依知南地区は、南北に国道129号、さがみ縦貫道路(圏央道)、東西は国道246号、藤沢座間厚木線が通り、東西南北どこにでも出やすい立地にある場所である。生活するうえで利便性が向上している反面、その抜け道となる生活道路に多くの車両が通行し、朝夕の通勤・通学時間帯は交通混雑が発生するというデメリットも抱えている。
 地区内に依知南小学校、依知小学校、依知中学校の3つの学校があり、通学路の多くがその抜け道として使われていて、交通量も多く、日々地域の通勤・通学者が危険にさらされている。
 実際、平成28年に2件と平成29年に1件の交通事故により若い命が失われるという痛ましい事故も発生してしまった。行政の取組や自治会、見守り隊など地域が一丸となって交通事故防止に向け展開することにより、市全体や当地区でも年々減少してきている。
 第10次厚木市総合計画の地区別プランで、地区で感じている課題の中に「通勤・通学時間帯における児童・生徒を含めた歩行者の安全確保」が挙げられており、当地区として各自治会を通過している通学路を安心して利用できることを第一に考え、さらに、地区内を南北に走る横須賀水道路(市道2-48号線)などの問題を、今回の意見交換のテーマとして取り上げた。

自治会長からの意見	市長等からの回答
-----------	----------

意見1 国道129号の迂回路の安全確保について

【関口自治会長】
 ■関口地区の依知小学校、依知中学校の通学路や地域住民が使う生活道路が国道129号の迂回路となっていて、制限速度(30キロ)を超える危険な運転が多発している状況であり、地元からもどうにかできないかという声を聞いている。
 自治会としても改めてどういう箇所が危険か現場確認をし、どんな対策が良いか検討してきた中で、対策案として次の3点について市と一緒に検討させていただきたい。
 1つ目は、車道と歩道が同じ高さの道路で白線により分けてあるが、通学路として子どもが通行するので、より視認性を高めるため歩道側をカラー舗装してほしい。
 2つ目は、道路が急に狭くなっている場所について、車両の減速を促すように、カラー舗装や看板の設置、警戒標識の設置はできないか。
 3つ目は、速度制限30キロの区間で速度が守られるように、さらに運転手に具体的に訴える路面への注意文字や記号の追加、強調及び注意看板の設置追加(制限速度30km、学童注意、速度落とせ、横断歩道マークの追加設置など)、歩道部分のカラー舗装等により、視覚を通じての速度抑止力になるのではないかと考えている。
 他にも対策があるかもしれないが、少しでも地域の道路の安全性を高めていきたい。

【市長】
 ■横須賀水道路については、全体的に幅員が狭い中でどう安全性を高めていくか計画を立て、合意形成を図りながら検討していく必要がある。
 現状でできるカラー舗装や学童注意などの路面表示、道路が狭い部分への注意看板等の安全対策は、現場を確認して必要な箇所に設置していく。
 【協働安全部長】
 ■注意看板については、一部民有地に設置されている箇所もあるので、文言も含め改めて現地確認のうえ、地元自治会と調整しながら設置していく。
 <現況・今後の対応等>
 ■国道129号の迂回路の安全確保については、路面のカラー舗装や注意看板の設置など現場を確認し対応していく。(交通安全課、道路維持課、道路整備課)
 <中間報告以降の状況等>
 ■注意看板については、自治会と調整しながら10月に設置した。路面のカラー舗装については、今年度中に一部を実施し、来年度以降、路面標示を含め対応していく。

意見2 国道129号中依知交差点の児童生徒の通学路の安全確保について

【本厚木スカイハイツ自治会長】
 ■自治会としても地域の児童生徒の安全確保のため、自治会を中心に「見守り隊」として通学路の安全を見ているが、平成28年2月には、小学生の死亡事故が発生しており、児童の安全確保のために対応が必要だと痛感している。
 圏央道の開通により中央道や関越道への交通網が充実し、依知地区へ企業誘致が積極的に進められている。それに伴い、圏央厚木インターの出入口開設により国道129号への交通量が増え、以前と比べて、金田方面から中依知交差点を右折する車両が明らかに多くなってきた。
 この交差点は、依知南小学校、依知中学校の通学路として、多くの児童・生徒が通学に使用している。
 そこで、国道から中依知交差点に右折してくる一般車両や関口、中依知地区の住民の方も危険を感じつつ右折せざるを得ない状況になっている交差点に、より安全に通行するための交差点とするため、右折信号の設置、あるいは、時間差で信号を切り替わるようになれば、中依知交差点を右折する際の事故の発生を抑止につながると思う。

【市長】
 ■国道129号を北に向かう中依知交差点において、平成28年に事故が発生してしまった。当時、警察による現場確認では右折車両がそれほど多くなかった。
 その後、圏央道の開通や企業進出に伴い、交差点で右折する車両が明らかに増加し、交通環境に変化が見受けられるので、改めて地域の切実な思いとして、子どもたちにとってより安心・安全に通行できる交差点となるよう厚木警察署と協議をしていく。
 <現況・今後の対応等>
 ■国道129号中依知交差点については、厚木警察署に提出する要望書を自治会と調整しており、要望書が提出された後、自治会長とともに厚木警察署に右折信号機設置の要望をしていく。(交通安全課)
 <中間報告以降の状況等>
 ■新たに信号を設置することで危険な状況にならないかなど様々な角度から自治会と検討している。自治会から要望書が提出され次第、厚木警察署に要望していく。

意見3 安心・安全な通学路、生活道路としての横須賀水道路整備促進について

【長坂自治会長、関口自治会長、中依知自治会長】

■長坂自治会、関口自治会、中依知自治会の区域内において、市の取組、警察等交通関係団体、自治会、学校、地域の方による見守りなど、熱心な活動により交通事故発生件数は減少傾向にあるが、登下校時の事故がなくなった訳ではない。自治会としても、通学路の交通安全対策は緊急な課題であると考えている。

令和3年度の自治会長と市長のフリートークに長坂自治会、関口自治会、中依知自治会の区域内の横須賀水道路(市道2-48)の再整備促進に向けて早期に3自治会と市との調整会議体を組織し、地元と協議を重ね共に知恵を絞って安心・安全な通学路・生活道路としての横須賀水道路の整備を共に考え進めて頂くことになった。

令和4年6月22日に依知南公民館にて3自治会長、依知南地区館長、依知南自治会長と市道路部による「安全な横須賀水道路整備促進検討会」(以下「検討会」という)を開催することができた。

その検討会の中で、早期に実現可能と思われる安全対策として、道路ハンプによる速度抑制や既存樹木の間引き等による車両待避所の視認性の向上、ガードレール等の防護柵や路面標示による通学路の安全確保が図られるよう進めていただき、引き続き、機会をとらえ検討会を開催し、3自治会と市でともに知恵を出し合い協力して、安心・安全な横須賀水道路を目指していければと考えている。

すでに事故発生交差点には「交差点注意」の看板や増設カーブミラーが設置された。このような市の素早い積極的な対応により依知小学校、依知中学校の通学路や地域住民憩いの散歩路は今以上に安全で快適な横須賀水道路となっていくものと思う。とても感謝している。

【下依知自治会長】

■横須賀水道路のうち区画整理地の外周道路については道路幅も広く直線のため、車の通行速度が速くなっている。青パトなどに巡回してもらっているが、警察と協議をする機会があったら、少しでも巡回していただけるようになると抑止につながると思うので、ご協力願いたい。

【金田上部自治会長】

■横須賀水道路の下水道工事については、警備員の配置などを含め通学路の安全確保のための措置を講じてもらい、ありがとうございます。これから道路拡幅工事も始まるが、できるところから早めに対応いただけるよう、今後ともよろしく願いたい。

【金田中部町自治会長】

■金田上宿信号について、子どもが信号待ちをするスペースがあると良いと思う。

【金田東部自治会長】

■県道金田・酒井線については用地買収と工事が進んでいる。金田地区は、今後、環境センターの北側にゴミ中間処理施設が10月に起工、また、ふれあいプラザがオープンすると人や車の流れも変わってくる。環境がどんどん良くなっていると感じている。今後も周辺環境の変化に合わせた安全対策等について、引き続き、お願いする。

【道路部長】

■早速現場を確認し、既に対応した箇所もあるが、他の箇所については、今後自治会長と相談をしながら12月を目途に対応を予定している。

また、今年度は、子ども目線で危険な箇所を改善していくので、しもこが公園のフェンスから草木が伸びて見通しが悪くなっていた箇所については改善した。

【上前副市長】

■今年度は新たに通学する児童のランドセルにウェアラブルカメラを付けて、子ども目線で危険箇所がないか安全点検を実施し、植栽や塀が高く見通しの悪い箇所など、事故が起きる前に、一つ一つ改善し安全性が高まるように、市内全体で対策を講じていく。

また、日頃の見守り活動を通じてお気づきの点があれば対策を一緒に考えていきたい。

【市長】

■市では警察OBが青色回転灯搭載車で巡回をしている。厚木警察署についても横須賀水道路の通行車両の現状を伝え、少しでもパトロールをしてもらえるようお伝えさせていただく。

【市長】

■拡幅工事については、整備できる箇所から進めていく。道幅が狭い区間なので、今後は対向車とのすれ違いもしやすくなると思う。

【市長】

■金田上宿交差点の歩行者だまりについては、現場を見させていただき、どういった対策ができるか調整させていただく。

【市長】

■ふれあいプラザの工事等の車両により、騒音などの御迷惑をお掛けしてしまっている。地区の大切なものをしっかり守りながら、住みやすさを実感していただけるよう、これからも事業を進めていく。

《現況・今後の対応等》

■横須賀水道路の整備については、引き続き、自治会と調整し、より安心・安全な道路となるよう取り組んでいく。また、ウェアラブルカメラを活用した通学路の安全点検については、依知小学校は8月30日に、依知南小学校は9月15日に実施した。今後、映像を検証し安全対策につなげていく。(交通安全課、道路維持課、道路整備課、学務課)

《中間報告以降の状況等》

■横須賀水道路の整備については、順次用地買収を進めている。既存樹木の間引きについては10月に一部実施した。また、ウェアラブルカメラの映像検証後に通学路安全対策協議会から出された要望についても対応した。

今後の横須賀水道路の安全対策は、ハンプの設置を2月に予定しており、来年度以降、防護柵の設置を含め、引き続き対応していく。